

The 68th Japan Traditional

人間国宝から
新進気鋭の若手まで

第68回 日本
伝統工芸展

陶芸／染織／漆芸／金工／木竹工／人形／諸工芸

2022 2.16(水)・3.6(日)
February 16(Wed)-March 6(Sun) 2022

広島県立美術館
Hiroshima Prefectural Art Museum

協賛
MAZDA 大田鋼管
HIROTANI 株式会社ヒロテック

令和4年度文化の発信事業
〇開館時間 9:00～17:00(金曜日は18:00
まで閉館)※入場は閉館の30分前まで 〇入館料
一般 700円、高・大学生 400円※中学生以下無料
※中学生以下は以上の料金に当日料金を200円付す
※預かり料金は美術館交際費、広島市・市内の主なプレイ
グ、資料館、演劇、ゆめタウン広島などで販売しています。中学生
以下は購入、ご入場の際にお申し込みの受付をお願いします。※多休
日開催予定、土曜休館、精神障害者保健福祉手帳及び障害者手
帳の所持者と全額返付(1名までの当日料金は半額です。手帳をご提示
ください。半額返付プログラムは本館限定のサービスのため、期間限定・変更の
可能性があります。最新情報は広島市美術館 電話 083-8363121
〇Hours: 9:00-17:00 (Fridays open until 18:00) 〇Admission
Adults: ¥700 High school, college and university students:
¥400+advance group admission at ¥200 off the regular fee.
主催 広島県立美術館、JR広島駅近隣、縮景園前、(公)社日本工芸会

五十嵐 誠 機織師事務所
日本工芸会幹人賞

中村 信吾 陶彫師(基列)
日本工芸会幹人賞

近藤 美平
春日集英花文館
日本工芸会幹人賞

小村 信子 縮景園前(青森)
日本工芸会幹人賞

日山 隆二
縮景園前
日本工芸会幹人賞

KOGEI -Art Crafts- Exhibition

会期 令和4(2022)年
2月16日(水)～3月6日(日)
会期中無休

12月16日(木)から
前売券発売!

開館時間 9:00～17:00
※金曜日は19:00まで、
入場は閉館の30分前まで

料金 一般 700円
高・大学生 400円
※中学生以下無料
※前売・20名以上の団体は200円引き



- JR広島駅より約1km ●広島城より約400m
- 市内電車(「八丁堀」で乗り換え)白島線で「縮景園前」下車20m
- ひろしまめいぐる〜ぶ(市内循環バス、JR広島駅新幹線口のりば発着)「県立美術館前」下車(白島線沿い)

広島県立美術館
Hiroshima Prefectural Art Museum



【開催趣旨】

日本伝統工芸展は、日本の風土の中から生まれた世界に誇る工芸技術を、発展継承させることを目的に、昭和29年に創設されました。伝統的な「わざ」をベースとしながら、今日の生活に合った新たな技術、新たな表現を築き上げることを目標としています。広島展では、陶芸、染織、漆芸、金工、木竹工、人形、諸工芸の各部門から、広島在住作家の入選作5点を含む約280点を展示します。人間国宝(重要無形文化財保持者)から新進気鋭の若手まで、日本を代表する工芸家たちの最新作をお楽しみください。

【展覧会の構成】

本展は陶芸、染織、漆芸、金工、木竹工、人形、諸工芸の7部門から構成されます。

I 陶芸

土器、炆器、陶器、磁器というように、やきものは原料とその性質から分類されます。さまざまな釉薬や上絵具による絵付け、窯の中で偶然的に発生する窯変など、バラエティに富んだ作品が一堂に並びます。

II 染織

染織は文字通り、染めることと織ることをいいます。木綿や絹、芭蕉や和紙などを素材として用いた、染めと織り、刺繍などによる色とりどりの着物が見る人を魅了します。

III 漆芸

漆芸は、東アジアや東南アジアで発達した東洋独特の工芸で、各地域で特色のある器や調度^{きょうど}が作られてきました。漆の塗肌の味わいや光沢を活かした髹漆^{きゅうしつ}、貝を使った華やかな螺鈿^{らでん}など多彩な作品を展示します。



林 恭助 耀変流光彩深鉢
日本工芸会奨励賞



知念 冬馬 琉球紅型着物「臚型・島唐辛子」
日本工芸会新人賞



水口 咲 乾漆箱「新雪」
NHK会長賞

press release

IV 金工

金工は文字通り、金属による工芸をいいます。素材は、金、銀、銅、鉄、異なる金属を合わせた合金など。叩いて成形する鍛金、熱く溶かした金属を鑄型に流し込んで成形する鑄金、彫ったり鍍金したりして加飾する彫金など様々な技法による作品を紹介します。



近藤 亮平 布目嵌花文箱
日本工芸会新人賞

V 木竹工

木竹工は、木工と竹工をいいます。木工の技法は大きく分けて口口を使った挽物、削って形を作る割物、薄い板を曲げて成形する曲物、板状の木を複雑に組み合わせた指物などがあります。ケヤキや黒柿、松や黒檀など木の性質を活かして作品制作が行われます。竹工は、真竹や孟宗竹などをそのまま、あるいは細く割ってヒゴとし、編んで作品とします。



三浦 信一 黒檀嵌荘匣「深山の彩」
文部科学大臣賞

VI 人形

伝統的な人形制作は木彫や桐塑、張子や陶磁製の陶胎があります。作品の背景にあるだらう物語や伝説はもちろん、衣装の布選びや小物まで、作者は工夫をこらしています。



高田 和司 木芯桐塑和紙貼「蒼天」
高松宮記念賞

VII 諸工芸

諸工芸には、ガラスや七宝、玉や象牙、截金や硯などが含まれます。ガラスの成形法には、型を使う方法と使わない方法があり、切子や腐蝕などで加飾します。七宝は銀や銅などの素地にガラス質の釉薬を焼き付けるもので、有線七宝、無線七宝、省胎七宝などがあります。メノウや水晶をくりぬいた玉、線状に切った金箔などを貼ることで文様を表した截金、山口県や山梨県などが特産の硯といった多彩な作品を紹介します。



安達 征良 硝子花入「五月雨」
日本工芸会奨励賞

【媒体掲載用の画像提供について】

※いかなる場合も本プレスリリースからの転用は御遠慮ください。

※都合により出品作品が異なる場合がございます。御了承ください。

※画像については提供が可能です。画像掲載の際には、当館までお問い合わせください。

※画像掲載の際には、画像とテキストが掲載されたレイアウト原稿を事前に当館まで提出いただき、1週間程度お時間を頂戴いたします。

【関連イベント】

講演会（共催：広島県立美術館友の会）

テーマ：「伝統工芸と創作—作家の工芸を考える」

講師：唐澤昌宏(国立工芸館館長)

日時：2月19日(土)13:30～15:00(開場13:00)

※聴講無料、要事前申込(当館082-221-6246)

スライドトーク

日時・講師(分野)

2月18日(金)13:30～ 金城一国斎(漆芸)

3月4日(金)13:30～ 粟根仁志(七宝)

所要時間：約40分

※聴講無料、要事前申込(当館082-221-6246)

インスタライブ配信

当館公式インスタグラムからギャラリートークを配信

日時・出演

2月24日(木)17:00～ 木村芳郎(陶芸)

2月28日(月)17:00～ 高山尚也(漆芸)

3月3日(木)17:00～ 菅坂安子(七宝)

所要時間：約15分



公式インスタグラム

子供ワークショップ「学芸員の仕事に挑戦しよう！」

展示用の作品解説を書きます。学芸員のタマゴ、この指とまれ！

日時：1月22日(土)13:30～16:00(受付開始13:15)

講師：福田浩子(当館学芸課長)、岡地智子(当館学芸員)

受付：3階ロビー

対象：小学3年生～6年生

募集人数：6名程度

※参加無料、要事前申込(当館082-221-6246)

press release



あお やま や

青柳屋 展覧会オリジナルスイーツ

朝日新聞社賞受賞作「乾漆銀平文はちす箱」をイメージしたオリジナル和菓子を御用意します。

期間限定：2月16日(水)～27日(日)[1日10食限定]

場 所：3階ティールーム

工芸作家の小品販売

日本工芸会会員の作品を、会期中、3階ミュージアムショップで販売します。

一点ものの作品をお手頃な価格で御準備しております。

【ワンコイン縮景園(縮景園連携)】

本展入館券の御提示により、100円で縮景園に御入園いただけます。

【開催概要】

メインタイトル：第68回日本伝統工芸展

英語名：The 68th Japan Traditional Kōgei -Art Crafts- Exhibition

会期：令和4年2月16日(水)～3月6日(日) 会期中無休

開館時間：9:00～17:00(金曜日は19:00まで開館)

※入場は閉館の30分前まで

料金：一般 700円 高・大学生400円 ※中学生以下無料

※前売り・20名以上の団体は当日料金より200円引き

※前売券は広島県立美術館、広島市・呉市内の主なプレイガイド、画材店・画廊、ゆめタウン広島などで販売しています。


※学生券を購入・入場の際は学生証の提示をお願いします。

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳及び戦傷病者手帳の所持者と介助者(1名まで)の当日料金は半額です。手帳を提示してください。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開館情報に変更の生じる場合があります。最新情報は広島県立美術館(電話・HP・SNS)まで

開催クレジット

主催：広島県立美術館／NHK広島放送局／朝日新聞社／(公社)日本工芸会

助成：令和3年度文化庁補助事業 

協賛：マツダ／大田鋼管／ヒロタニ／ヒロテック

問い合わせ先：広島県立美術館

〒730-0014 広島市中区上幟町2-22

TEL.082-221-6246 FAX.082-223-1444

E-mail：iroeuma2@gmail.com

担当：学芸課 藤崎 綾、岡地 智子

広報担当：総務課 一色 直香、弘津 かおる

来館の皆さまへ

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、以下の対策を行っています。御理解と御協力をお願いします。

- 次に該当するお客様は、入館を御遠慮ください。
 - ・発熱や、軽度であっても咳・のどの痛みなどの症状があるなど体調の悪い方
- 協力のお願い
 - ・正しいマスクの着用、手指のアルコール消毒、咳エチケット
 - ・会話は控えめにし、特に大声での会話は行わないでください。
 - ・人と人との接触を避けるため、できるだけ1mの距離を空けてください。
 - ・来館者が多い場合は、入場制限を行う場合がございます。